

<学校関係者評価委員会>

委員会は学院評議員・PTA会長・PTA代表・本校卒業生から各お一人ずつ、計4名の方で構成されています。

項 目	関係者委員会の意見
○進学指導について	○学校の進学指導にかけるエネルギーは評価する。国公立、関関同立、医歯薬系大学への進路実績を確実に伸ばしている。進路指導においては、進学クラスを含めた全体の底上げをするという観点が必要。高校2年生、高校3年生という受験を控えていることから進路指導に力を入れることは必要であるが、高校生活全体を通しての人間形成という観点で、学校行事への参加なども必要だと思う。生徒全員が参加できる工夫を願いたい。
○募集について	○様々な新しい取り組みによって、募集を成功させようという努力は評価できる。高校からの入学志願者は多くなっているが、少子化によって中学校の募集は厳しいものがある。総合学園として隣接する追手門学院小学校からの入学者を更に増やす取り組みが必要。また、女子生徒の入学者を増やす工夫が必要である。
○生徒指導について	○生徒指導は、対症療法で問題が起きたらそれに対応するというだけでなく、日々の道徳教育や先生方の生徒への日々の接し方、言葉かけや対応が生徒の行動を大きく左右すると思うので、そうした視点で取り組みを願いたい。また、家庭との連携も欠かせない。細かい目配り、気配りを願いたい。
○学校評価アンケート結果について	○全体的に学年や学級間での差が見受けられる。こうした部分は学校として、学年として、取り組んでいただくことで改善できるのではないかと。また、自由記述のアンケートでは、学校に対して好意的な評価をしている数が多いが、一方で生徒に対して、或いは保護者との関係で厳しい評価もあり、是非、こうした点は改善に向け一層の取り組みを願いたい。
○その他、総合意見	○年度当初に、学校の方針を「学校経営計画」という形で提示していただき、学校がどのように1年間、各分野で取り組もうとされているのかが明確で分かりよい。こうした学校評価に関わっての“見える化”を今後も願いたい。こうしたことを通して、学校関係者として意見交換を進めて学校を良くしていきたい。